

**四日市市営宮妻峡ヒュッテ指定管理者候補者選定審査報告書**

**平成30年10月**

**四日市市指定管理者第3選定委員会**

四日市市営宮妻峽ヒュッテ指定管理者の候補者選定に係る審査結果について

四日市市は、四日市市営宮妻峽ヒュッテの管理・運営において、地方自治法第244条の2に規定する指定管理者制度を導入するため、四日市市公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例（平成17年四日市市条例第9号）第2条第1項に基づき、指定管理者を募集しましたところ1団体（以下「応募者」という。）から応募がありました。

四日市市指定管理者第3選定委員会（以下「選定委員会」という。）は、応募者について提出書類と応募者ヒアリングを基に総合的に審査し、指定管理者の候補者を選定しましたので、その結果を次のとおり報告します。

平成30年10月15日

四日市市長 森 智広 様

四日市市指定管理者第3選定委員会

委員長 先浦 宏紀

委員 北村 香織

委員 杉本 雅俊

委員 鈴木 圭計

委員 土井 愛子

委員 生川 昌毅

委員 松浦 伸吾

1 施設の名称

四日市市宮宮妻峽ヒュッテ

2 指定の期間

平成31年4月1日～平成36年3月31日

3 審査の内容

四日市市宮宮妻峽ヒュッテ指定管理者の候補者の選定

4 募集及び選定の経過

選定委員会による募集要項の審査	平成30年 6月 5日 (火)
募集要項の配付開始、HP掲載	平成30年 6月15日 (金)
応募説明会	平成30年 6月22日 (金)
質問書受付	平成30年 6月25日 (月)
	～6月27日 (水)
質問書回答	平成30年 7月 3日 (火)
指定申請提出期間	平成30年 7月24日 (火)
	～7月26日 (木)
選定委員会による応募者ヒアリング	平成30年 9月 6日 (木)
選定委員会による総合審査	平成30年10月15日 (月)

5 指定管理者応募者名

特定非営利活動法人自然と子どもを育てる会  
理事長 杉浦 啓二

6 選定審査の方法

(1) 提出書類の確認

応募者からの提出書類については、募集要項に定める応募の資格等を満たし、適正に記載されていることを確認しました。

(2) 応募者ヒアリング

応募者に対し、応募者ヒアリングへの出席を求め、提案内容等についての説明及び質疑応答を行いました。

実施日 平成30年9月6日 (木)

場 所 四日市市総合会館 7階第2研修室

要 領 40分間のヒアリング (団体説明20分、委員質疑20分)

(3) 総合審査

提案内容の審査については、応募者の指定申請等書類及びヒアリングの内容を基

に、選定委員会において、選定審査基準〔別紙1〕に掲げる評価項目ごとに5段階評価を行い、評価項目ごとの配点に5段階評価に対する率を乗じて得られた点数を全項目加算（80点満点）し、得られた各委員の点数を合算したものを、80点満点換算して応募者の提案内容の得点としました（小数点第2位まで求め、四捨五入）。

提案価格の審査については、応募者が1団体のみであったことから、配点の20点を提案価格の得点としました。

これら提案内容と提案価格の総計得点（100点満点）において、標準点を満たしますので、応募者を候補者として選定しました。

## 7 選定結果

指定管理者候補者 特定非営利活動法人自然と子どもを育てる会

## 8 選定結果の概要

評価項目	総得点	特定非営利活動法人 自然と子どもを育てる会
提案内容・評価点（a）	80	53.6
提案価格 5か年（単位：円）	—	18,117,000
提案価格・評価点（b）	20	20.0
総計（a + b）	100	73.6
順位	—	1

詳細な評価得点結果は、指定管理者候補者選定審査票(集計表)〔別紙2〕のとおりです。

## 9 審査講評

四日市市営宮妻峽ヒュッテは、市民の健康の増進を図り、市民福祉の向上に寄与することを目的に、市民が自然に親しみ、健全な憩いの場として、大きな役割を果たしています。

宮妻峽は、本市を代表する景勝地のひとつであることから、宮妻峽ヒュッテは、効果的な情報発信により、豊かな自然体験活動などの集客事業の実施や、鈴鹿山脈への登山の拠点施設としての役割を果たすことが期待されています。

そこで、指定管理者になろうとする団体については、施設の持っている目的や性格、新たな集客事業の実施という点を重視しながら指定管理者候補者選定審査基準〔別紙1〕に基づいて検討し、審査しました。

特定非営利活動法人自然と子どもを育てる会は、平成18年から指定管理者として運営してきた実績から、利用者アンケートを活かして、自分たちで改善できる取り組みを進めており、例えば野外炊事場の古くなった椅子や机は、廃材を利用して新たに製作したり、施設内照明のLED化を進めたりするなど、施設改善に向けた取り組みを着実に実施しております。そのような中、段差部分へのスロープの設置や風呂場への手すりの設置など、バリアフリーに関する部分でも積極的な提案をしていることなどから、今後も利用者に対するきめ細かな管理運営が期待できます。

また、事業計画については、継続的な取り組みの実施以外にも、情報発信に係る事業として、アンケート等から利用者層を分析し、利用者層別にイベントの案内を行ったり、SNSを活用し、リアルタイムな情報を提供したりするなど、新たな事業へも意欲的に取り組もうとする姿勢が見受けられます。

さらに、施設利用者に向けた取り組みとして、礼状はがき送付によるリピーターの確保や、新たな情報提供サービスとして、利用者名簿にEメールアドレス欄を設けるなど利用者に寄り添った提案については評価できます。

その他、地域団体とのイベント連携や宮妻峡周辺の安全管理計画の策定など、NPOのメンバーそれぞれが、地域の社会貢献を目的に、やりがいを持って取り組んでいこうという姿勢が強く感じられます。

一方で、ファミリー層や若い世代に向けた情報発信という分野においては、より多くの方に利用してもらうために、例えば地元の大学生や山岳部の利用者を中心とした若い世代と連携するなど、より効果的な情報発信となるよう改善すべき点が見受けられます。

以上のような点を踏まえ、総合的に審査した結果、特定非営利活動法人自然と子どもを育てる会を、四日市市営宮妻峡ヒュッテの指定管理者の候補者として選定します。

指定管理者候補者選定評価基準

区分	評価項目		評価基準	配点		
	大項目	中項目		中項目	大項目	
提案内容	1	基本的な考え方	施設の性格や目的等に合致した方針があること	施設の性格や設置目的、現状と課題、指定管理者となる意義や責務について、認識があるか。	5	15
			市民の平等な利用が確保されていること	施設運営における市民の平等な利用について考慮されているか。 事業内容に偏りがあり、利用者が限られることはないか。 正当な理由なく一部の市民に利用制限や優遇をしたりすることはないか。	5	
			施設の効用が最大限発揮されていること	施設の利用を促進させる方策等はあるか。 利用者サービスに対する方策等あるか、向上への期待が持てるものか。 経費の節減や業務の効率化を継続的に提供する方策等はあるか。	5	
	4	団体の経営状態（経営の健全性）	団体の経営理念や方針は指定管理者として相応しいものか。 団体の経営状況は良好か、不測事態や資金需要の集中に対する余裕はあるか。 過去の決算や業績から経営の安定性を欠くような点はないか。	11	11	
	5	施設管理運営の実施方針（合目的性）	施設管理運営の実施方針（合目的性）	団体の実施方針は、市の施設運営方針や管理の基準等を逸脱していないか。 基本的な考え方を補完する実施方針となっているか。	5	52
			施設の運営体制や組織（責任性、実行性）	業務遂行に必要な職員体制や配置人員は適切であるか。 現場責任者、有資格者の配置、指揮系統や責任権限は適切であるか。 業務従事者の勤務割振、勤務時間等は適正か。 団体として当該施設の管理運営をサポート、バックアップする体制はあるか。 市や関係機関との連携や協働について、考え方を明示しているか。 従事者研修や業務指導に関する方針や計画が立てられているか。 収支の均衡は適正か。収入と支出項目に漏れがないか。 過小又は過大な見積りはないか。積算根拠や方法に誤りがないか。	8	
		事業への具体的な取組み方（機能性、独創性）	事業への具体的な取組み方（機能性、独創性）	事業の提案内容や施設の有効利用に創意工夫や斬新性は認められるか。 年間の事業量を適切に把握し、実行できる計画内容になっているか。 管理区域、業務範囲について漏れなく的確に把握しているか。 サービス向上のための方策として、利用者層の拡大、稼働率の向上に向けた事業を実施できるか。 利用者に対する広報宣伝、情報提供などができるか。 利用者の苦情や要望、意見等への対応は適切に処理できるか。 施設や附属設備の保守点検作業は基準や仕様を満たしているか。 業務の第三者委託の範囲等は適当であるか。 地域や他団体と連携して、施設の魅力を高める方策があるか。	17	
			適正な管理や経理（明瞭性、規律性）	事務や会計処理の基準や手続に基づき、適正に処理することができるか。 経理帳簿・台帳等を整備し、情報公開や監査請求に適切に対処できるか。 必要に応じパソコン等ITを活用することができるか。 業務報告や事業報告を適切に作成し、自ら評価し、改善姿勢はあるか。	10	
		安全管理、緊急時等の対応（安全性）	安全管理、緊急時等の対応（安全性）	安全対策は明確で業務従事者の教育、訓練の実施計画はあるか。 指定管理者の掃責事由による損害賠償等リスクに対応できるか。 事故や災害時等緊急時の連絡体制や市への通報は示されているか。 犯罪防止、秘密保持、個人情報保護等セキュリティ対策をしているか。	5	
			環境、障害者等への配慮（社会性）	省エネ、環境負担の軽減に配慮し、廃棄物は適切に処理できるか。 周辺環境や地域住民等への配慮した提案がなされているか。 障害者、子ども、高齢者の立場で利用への配慮や工夫をしているか。	4	
		過去の実績等	類似施設や関連業務の管理運営実績があるか。	3		
		6	地域貢献	市内に活動拠点を置き、活動実績があるか。	0.5	
	法定雇用率が達成されているかなど、障害者雇用に対する取り組みがあるか。			0.5		
	育児休業制度が規定されているかなど、男女共同参画に対する取り組みがあるか。			0.5		
	市内における地域貢献の実績があるか。			0.5		
提案価格	提案価格（価格点）	価格点 = 20 × (最低提案価格 / 当該提案価格)	20	20		
合計			100	100		

得点付与の方法

評価	判断基準	得点の付与方法
A	特に優れている	配点×1.0
B	優れている	配点×0.8
C	普通	配点×0.6
D	やや劣っている	配点×0.4
E	劣っている	配点×0.2

※地域貢献のみ、E評価の得点付与は下記のとおり

E	劣っている	配点×0.0
---	-------	--------

指定管理者候補者選定審査票(集計表)

別紙2

審査対象施設 四日市市営 宮妻峽ヒュッテ

区分	評価項目		配点	委員数	総配点	特定非営利活動法人 自然と子どもを育てる会	
	大項目	中項目				総得点	
提案内容	1	施設の性格や目的等に合致した方針があること	5	7	35	21.0	
		2 基本的な考え方	市民の平等な利用が確保されていること	5	7	35	25.0
			施設の効用が最大限発揮されていること	5	7	35	21.0
	4	団体の経営状態（経営の健全性）	11	7	77	46.2	
	5 事業計画		施設管理運営の実施方針（合目的性）	5	7	35	24.0
			施設の運営体制や組織（責任性、実行性）	8	7	56	33.6
			事業への具体的な取組み方（機能性、独創性）	17	7	119	91.8
			適正な管理や経理（明瞭性、規律性）	10	7	70	42.0
			安全管理、緊急時等の対応（安全性）	5	7	35	22.0
			環境、障害者等への配慮（社会性）	4	7	28	22.4
			過去の実績等	3	7	21	16.8
	6	地域貢献	・市内の活動実績	0.5	7	3.5	2.2
			・障害者雇用	0.5		3.5	2.1
			・男女共同参画	0.5		3.5	2.1
・市内の地域貢献			0.5	3.5		2.8	
合 計			80	7	560	375.0	
a. 評価点（80点換算）					80	53.6	
提案価格	提案価格					¥18,117,000	
	b. 価格点（20×最低提案価格/当該提案価格）				20	20.0	
総 計（a + b）					100	73.6	
順 位							